

活動名 災害時、まず「いのちを自分で守る～自助～」	団体名	府中町災害ボランティア赤十字奉仕団
	地域	広島県安芸郡
	代表者	委員長 篠永 廣也
	支援金額	10万円
活動概要		
<p>幼児から高齢者までを対象にした、防災教育を下記防災ゲームで活動しました。</p> <p>①「防災ダック」は幼稚園児対象で、安心・安全の「最初の第一歩」を実際に身体を動かし、声を出して遊びながら学んでもらうゲームです。</p> <p>②「防災すごろく」は小学生から高齢者対象まで、問題に対して三択一正解どれだ・・・？で、答えが用意されており正解するとサイコロを振って、出た目の数だけコマを進めるゲームです。(笑顔で声を出し楽しみながら防災知識を習得します)</p> <p>③防災ゲーム「クロスロード」は問題に対し、イエス・ノーの決定を行う。全員が自らの決定の理由・根拠を話す。解説ポイントの後、再度イエス・ノーの決定を行う。</p> <p>④その他行事 AEDの体験講座・各町内会の図上訓練・北部町内会の避難訓練</p> <p>⑤定例会は、毎月第三木曜日に実施。</p> <p>◆実施時期 2013年4月1日～2014年3月31日 府中町ふれあい福祉センター・老人福祉センター福寿館(隣接)・南交流センター 日本赤十字広島支部・つばめ幼稚園・熊野小学校 他</p> <p>◆参加人数 ①防災ダックのゲーム 161名 ②防災すごろくのゲーム 290名 ③クロスロード他 505名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員:956名</p>		



「防災ダック」の教材として、動物の被り物を作成



「防災ダック」ゲームの風景



「防災すごろく」ゲーム



#### ◆実施に伴う効果

- ①「防災ダック」ゲームは、防災や日常の危険から身を守る事を学ぶカードだけでなく、挨拶やマナーといった日常の習慣についても学べるカードもあり好評でした。今後は、親子と一緒に参加する行事で活動します。
- ②「防災すごろく」ゲームは、参加者からは好評でしたが、小中学生対象の参加者が計画より少なく残念でした。学校内での行事ができなかったが、これからも積極的に取組みます。
- ③「クロスロード」ゲームは、地域住民を対象にした防災ゲームでしたので、各地域内での活動を今後も推進します。

#### ◆苦勞した点

- ①幼稚園・小中学生対象の活動計画は、私達のPR不足か？当初予定数の出前講座が出来ませんでした。幼稚園・学校に訪問し依頼したり、教育委員会にも訪問、書面等で依頼するも良い回答がありませんでした。→次年度も継続的に依頼します。
- ②町内は南交流センターの協力がありました、又町外からの申込みもあり良かったです。
- ③「防災すごろく」の活動には、参加者の年齢層等で、新しい内容の問題に切り替えながら、対応しています。

#### ◆今後の課題・発展の方向性

これからの地域社会にあっては、青少年の育成に私達ボランティアの役割も必要だと思います。今後は南海トラフ地震対策の減災支援として、幼稚園児・小中学生に防災時の知識の理解を深めながら応援対応します。  
共催企画として公民館・消防本部等の協力を得て活動を進めたいと考えています。行政・教育委員会と話し合い、学校の放課後時間帯に、学生に防災知識の勉強会が出来る様立案書を提出します。(学校内の行事であれば参加者が増加すると考えます)

#### ◆活動を終えての感想・意見等

- ①防災関連の研修・勉強会等に参加し、会員の資質面が強化されました、有難うございます。
- ②活動面では、幼稚園児・小中学生の出前講座が予定を下回りましたが、26年度に繰越継続で対応致しますので、ご配慮の程宜しくお願い致します。
- ③マツダ財団のお蔭で、当団体は幅広く地域社会に役立つ行事の活動にも、積極的に取り組む姿勢が出てきました。